

チーム紹介

メンバー

羽根竜斗 佐藤賢斗 上野椋太 柳澤共亮

チーム課題

- ▶車の販売ディーラーが地域に根差す為に何をするか

トヨタカローラ山形宮手さんの 話を聞いて

- ▶ 車社会の環境と安全について学ぶことができました。
- ▶ 今現在自動車会社は100年に一度の大変改革にありCASEについて学びました。

CASEとは、connected(接続性)、autonomous(自動運転)、shared(共有)、electric(電動化)

- ▶ 山形県の交通事故は減少傾向にありそれはなぜなのか事故内容やドライバーの特性について教えていただきました。

自動車業界に感じたこと

- ▶ 自動車についてあまり詳しく知ることがなかったがインターンシップを通して自動車業界が取り組んでいること、役割を知り、調べていく中で自分達なりに理解し解釈することにより身近に感じることができた。
- ▶ トヨタカローラ山形などが地域に根差す為にはどのようなことをしたらよいかをしっかりと地域のために考え取り組んでいると感じました。

自動車の抱える問題

▶ 環境問題

➡CO2排出による地球温暖化・燃料枯渇

▶ 少子高齢化問題

➡日本では、少子高齢化が問題になっていて車を運転する割合は高齢者が年々増え続けている

➡加齢により動体視力の低下や判断能力の低下・複数の情報を同時に判断する身体機能の低下による事故

環境問題に対する対策・取り組み

▶ 対策

➡CO2排出削減、電気自動車（EV）・プラグインハイブリット（PHV）・燃料電池自動車（FCV）の販売

▶ 取り組み

➡アメリカ・カリフォルニア州では、ZEV規制により、州内で一定以上の台数を販売する自動車メーカーに、その販売台数の一定比率をZEVにしなければ罰金が課せられる法律を定めている（ZEVとは、排出ガスを一切出さない車）

少子高齢化における対策・取り組み

▶ 対策

➡安全装備が搭載された車

衝突の可能性があるときに警報がなるか自動で止まってくれるか衝突を避けることができる車であるか

➡コンパクトカーを選ぶ

車体が小さいことも運転席から視界が良く高齢者でも安全に運転することができる

▶ 取り組み

➡自動運転を搭載した車の製作

自動運転車の必要性

▶ 必要性

- ➡ 田舎などでは自動車がないと移動できないこともあるので自動運転を搭載した車があれば高齢者の人でも気軽に運転でき、また事故も防げる
- ➡ 交通事故の低減。操作をシステムに任せることで、交通事故の大幅な低減が期待される
- ➡ 渋滞の解消・緩和。車間距離が適正化され不要な加減速が抑制されることから渋滞の緩和に繋がると考えられている

自動運転車を普及させるには

▶ デザイン性・価格の重視

➡若者はとにかくデザイン・価格を重視しているのでかっこよくて速い・安いがそろえば若者のニーズに合うので購入してもらえらると思う

▶ 運転が楽しくなる

➡通勤時や渋滞の時など自動で運転してもらえらると楽なのでストレスが軽減できる

➡都市部の人などは運転するのが怖いという人が多いので自動で運転をしてもらえられば運転が楽になるので運転する人が増える

トヨタカローラ山形が 地域に根差す為に

▶ 現在の活動

- ➡ディーラーの活動として、地域の人々の生活に密着した啓蒙活動、小学校の授業参観に参加、環境問題を考える。
- ➡小学校5年生の社会科授業で子供から環境問題への関心を醸成。
- ➡中学生の職場体験学習、小学生の職場見学の受け入れを行っている。
- ➡日本赤十字社と協力し、毎年団体献血活動の実施。
- ➡参加者を募り、定期的に周辺地域の清掃活動を行う。
- ➡子供達が誘拐や暴力、痴漢など危険な目にあった、または遭いそうになったと助けを求めてきた時、子供を保護するとともに警察、学校、家庭などへ連絡し地域ぐるみで子供達の安全を守っている。

愛される車の販売店になるには

- ▶ 高齢者・障害者を対象に一人暮らしの高齢者への訪問活動、食事のサービスなど森林や海辺の清掃活動、リサイクル活動、ゴミ拾いなどのボランティア活動を積極的に行い、地域住民からの信頼を得て身近な存在、また手軽に店舗の事を知ってもらえるようにする
- ▶ 地域の方とトヨタカローラ山形の方との交流が大切であると思う。その為には、トヨタカローラ山形の良さを伝え愛される車の販売店を目指す

愛される車の販売店になる為に

▶ 地域の方との交流

➡年代別の講演会の開催

▶ 子供

➡実際に体験できたり、触れられるなどし興味を持ってもらう

▶ 大人

➡芸能人などテレビで活躍する人来てもらい興味を持ってもらう

➡家族で楽しめるイベントを開催する

▶ 高齢者

➡スマホ・パソコンの操作の指導、SNS講習会

若者の車離れ解消について

▶ 解消案

- ➡若い世代からお年寄りまで携帯を持っている確率が非常に高くそのことを利用しトヨタカローラ山形の最新情報や車についてSNSで発信することで多くの人に見ていただく
- ➡若者・高齢者にとって魅力的である自動運転システム搭載車の導入、積極的な宣伝（CM、YouTubeの広告、ゲームとのコラボ）
- ➡インスタ映えや、キャンプなど若者のトレンドを抑えて、新たなキャンピングカー、インスタ映えに特化した内装など車を親しみやすい存在にする
- ➡若者に対し、お手頃価格・かっこいい車の販売、所有すればより満たされた生活が可能になるという事をアピールする